

動物にも普通に低侵襲治療を！ -小さな動物を救う、大きな挑戦-

Minimally invasive therapy for animals! -Saving small animals, a big challenge-

金井 詠一 講師
麻布大学 獣医学部 小動物外科学研究室

Eiichi Kanai / Lecturer (full time)
School of Veterinary Medicine/ Laboratory of Small Animal Surgery

動物医療でも低侵襲治療のニーズが高まっています

動物の低侵襲治療で利用可能なデバイスや技術を求めています

求む!! 下記の体内埋込型カテーテルシステム

- カテーテル治療で使用
- 2.0 Fr以下のマイクロカテーテル
- アクセスポート付
- 長期留置可能（抗血栓、抗感染）
- 留置時にカテーテル先端が移動しづらい

求む!! 内視鏡外科スモールデバイス

- 細径かつ高剛性なシャフト
- より繊細な先端形状
- 様々な角度に曲げられる多関節
- 狭いスペースでも開閉可能な小さいジョー
- ロボット手術



麻布大学附属動物病院 軟部組織外科・腫瘍外科では、年間約300件の手術を行っています。上記以外にもがんを中心に病気の診断、治療につながる技術を求めています。

